

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

肺炎球菌結合型ワクチン導入前後での小児侵襲性肺炎球菌感染症の臨床像の比較検討

2. 研究の対象患者

当院で診断した侵襲性肺炎球菌感染症（IPD）患者で、以下の選択基準をすべて満たし、除外基準のいずれにも該当しない方

・選択基準

1) 1996年1月～2025年12月（30年間）に、当院小児科で診療した方

2) 血液または髄液の細菌培養で肺炎球菌を検出した方

・除外基準

研究責任（分担）者が研究対象者として不適当と判断した患者さん

3. 研究の対象期間

1996年1月～2025年12月

4. 研究の概要

侵襲性肺炎球菌感染症（IPD）の発症予防のために肺炎球菌結合型ワクチン（PCV）が導入され、我が国では2010年から利用可能となった。PCV導入後に肺炎球菌感染症が減少したことは知られているが、PCV導入による小児IPDの臨床像の変化についての報告は少ない。当院小児科で診療した小児IPD症例の診療録をもとに後ろ向きに解析し、PCV導入前後での小児IPDの臨床像の変化について検討する。

5. 研究実施予定期間

2026年7月22日～2026年9月30日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

①発症年齢、②性別、③基礎疾患、④臨床所見（症状、検査所見）、⑤臨床診断、⑥転帰

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後ろ向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究対象者（又は代諾者）個々に結果説明することはありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

（連絡先）地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・研究責任者：小児科 大倉 圭貴

・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)